



# 大分高専Q&A — よくある質問

## ● 高専とは

**Q** 高専にはどんな人が向いていますか？

**A** 技術者になるために工学を学び、研究を行いますので、筋道をたてて考える力や理解力のある人、数学や理科の得意な人、実験や実習の好きな人が向いています。また、国際的に活躍することも多いので、英語の好きな人がよいでしょう。  
〔⇒ 校長のメッセージ、アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）、教育目的（P.2～3）〕



**Q** 工業高校との違いはなんですか？

**A** 高専は5年間一貫教育で大学と同じ高等教育機関ですので、3年間の工業高校より深く専門について勉強できます。また、これまでの先輩の努力や実績により、就職や理工系大学への進学にはとても恵まれています。一方、工業高校は工業関係の専門高校で、高卒で仕事に就くことを前提に作られましたので、卒業後すぐに社会へ出て働けるような人材育成を想定しています。

**Q** 大学工学部との違いはなんですか？

**A** 大学も高専も、研究と教育を両立させた高等教育機関ですが、高専は低学年から専門科目を学び、ものづくり教育により大きなウエイトを置いています。そのため、大学より2年早く社会に出て活躍できるようになります。高専では、本科を卒業して「準学士」として社会に出るか、「学士」取得をめざして専攻科への進学や大学への編入学を選ぶことができます。



**Q** 大分高専はJABEEの認定校と聞きましたが、JABEEとは何ですか？

**A** JABEEとは、日本技術者教育認定機構の略称で、我が国の技術者教育の国際的な同等性を保証するとともに、技術者教育の振興を図り、国際的に通用する技術者の育成を通じて社会と産業の発展に寄与することを目的とする団体です。JABEEから認定されているということは、大分高専の教育プログラムが、世界に通用する高い教育水準を充たしているということです。自信をもって、大分高専のプログラムを中学生の皆さんにお勧めします。  
〔⇒ JABEE認定について（P.19）〕

**Q** 高専はどんなところにありますか？

**A** 大分市中心部から車で15分くらいのところに広いキャンパスがあり、学習や研究のための充実した施設・設備が設けられています。学生食堂もあり、売店には、文房具やパンや菓子類も販売しているほか、コピー機も設置しています。キャンパスの近くにはコンビニはもちろん、ショッピングセンターや大型書店など（あけのアクロスタウン）もありますので、学生生活において不便はありません。  
また、50ccのバイク通学は2年生のときに交通安全教育を受けた後、許可されます。3年生までは制服ですが、4年生以上は私服です。自由な校風の中でのびのびと学生生活を送れます。  
〔⇒ キャンパスマップ・学年暦（P.4～5）〕  
〔⇒ 学校位置及び交通機関（裏表紙）〕



## ● 入試関係

**Q** 何学科を受験したらよいでしょうか？

**A** 機械工学科、電気電子工学科、情報工学科、都市・環境工学科の4学科があります。共通の科目もありますが、それぞれ違った専門科目を学びます。将来どのような仕事をしたいか、よく考えて、学科を選んでください。学科の内容は、パンフレット、ホームページの他、オープンキャンパス、高専祭などの機会にも知ることができます。  
〔⇒ 学科紹介（P.8～15）、授業科目一覧表（P.6～7）〕



**Q** 推薦入試はどういう試験ですか？

**A** 中学校の調査書、適性検査（国語・数学）、面接試験を総合判定して、合格者を決める試験です。中学校長の推薦が必要です。推薦入試の合格者は、各学科の募集人員40名の25%程度です。国語の適性検査（60分）では、700～1,000字程度の文章を読んでその内容を理解する力と自らの考えを表現する力を、数学の適性検査（30分）では基礎的な問題を解く力を検査します。  
〔⇒ 入試情報（裏表紙）〕

**Q** 学力入試は難しいようですが……

**A** 出題は、中学校の学習指導要領の範囲内と決められていますので、基礎的な問題が出されます。「高専だから」という理由で極端に難しい問題は出題されませんので、中学校の学習内容を理解していれば、解けるレベルの問題です。全国51高専、同じ日と同じ問題で学力検査が行われます。大分高専は、7割以上の点数を取っていれば、有望でしょう。  
〔⇒ 入試情報（裏表紙）〕



**Q** 各学科の倍率を教えてください

**A** 平均競争率は、年度によって異なりますが、ほぼ2倍前後です。

	機械工学科	電気電子工学科	情報工学科	都市・環境工学科	平均
平成28年度	1.8	1.7	2.0	2.1	1.9
平成29年度	1.4	2.3	1.7	2.1	1.9
平成30年度	1.7	1.4	2.3	1.8	1.8



## ● 学校生活

### Q どんな行事がありますか？

**A** 年間を通して、さまざまな学校行事が開催されます。入学後すぐ新入生オリエンテーション(合宿)があり、前期には球技大会、オープンキャンパス、後期には体育祭、高専祭、音楽祭、寮祭などがあります。また、9月下旬には、2年生は日帰りの教養旅行、3年生は1泊2日の校外研修、4年生は2泊3日の研修旅行が行われます。4年生の研修旅行が高校の修学旅行に当たる行事と言えるでしょう。いろいろな行事を通して、友情を育み、楽しい学生生活を過ごすことができます。  
〔⇒ キャンパスマップ・学年暦 (P.4~5)〕

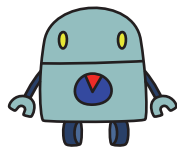


### Q どんな部活動ができますか？

**A** 高校や大学にあるような一般的な部は大体あります。運動部は高専大会や高体連等の大会に出場しています。軽音楽部や囲碁将棋部などの文系系の部や、女子の部も多く、盛んに活動しています。部活動でグラウンド2面、体育館2棟及び武道場などが利用でき、各部に部室を完備しています。

また、高専ならではの部活動として、ロボット研究部があります。全校の協力のもとにロボット研究部が中心となり、高専のロボットコンテストに向けて、ロボットを製作しています。

〔⇒ クラブ活動 (P.23)〕



### Q 寮は誰でも入れますか？

**A** 遠方の人を優先していますが、大分市内の人でも入寮できます。寮は学校の前の道路を隔てたところにあり、通学に時間がかかりません。部活動や放課後の勉強で遅くなくても大丈夫です。男子寮4棟、女子寮1棟があり、200名以上の学生が有意義な寮生活を送っています。3食とも寮の食事で、お昼は寮にもどって昼食をとります。

〔⇒ 寮生活 (P.24)〕



## ● 授業・進路

### Q 本科とは別に専攻科があるようですが、それはどういうものですか？

**A** 高専は、5年間一貫の教育を受ける本科と、その本科を卒業した人が更に2年間、より専門的な勉強をする専攻科とがあり、専攻科は、機械・環境システム工学専攻と電気電子情報工学専攻の2コースに分かれています。本科の4、5年生と専攻科の1、2年生が大学に相当し、専攻科を修了すると大学卒と同等にみなされ「学士(工学)」の学位が授与されます。

〔⇒ 専攻科について (P.20~21)〕



### Q 授業は難しいですか？

**A** 学期は前期と後期とに分かれており、低学年には、英語や数学などの一般科目が多く、高学年になるにつれて、各学科ならではの専門科目が増えます。一般科目は、高校と同じような内容を勉強します。専門科目は、基礎から専門的な応用まで学びます。予習・復習を行い、授業を真剣に受けるような勉強をすれば、誰でも大丈夫ですし、研究の成果で在学中に特許を取得した学生もいます。その他、授業によっては工場などの実地見学もカリキュラムに取り入れています。

授業はシラバス(授業概要)に沿って行われますので、より詳しい授業内容を知りたい場合は、ホームページに掲載中のシラバスを参考にしてください。(アクセス経路・トップページ→在校生の皆様へ→シラバス)

〔⇒ 授業科目一覧表 (P.6~7)、学科紹介 (P.8~15)〕

### Q 定期試験などは どうなっていますか？

**A** 年4回の定期試験があります。試験は、授業で学習した内容から出題されます。定期試験の点数や、科目によってはレポートなどを加味して評価を行い、一定以上の成績を取ると合格となり、その科目に定められている単位の修得が認められます。進級に必要な単位を修得できなかった場合は、留年することもあります。しかし、普通に勉強していれば、留年することはありません。

また、SA(Student Assistant)制度を設け、専攻科生や5年生による補習等も行っていきます。



### Q 卒業生はどういうところに進みますか？

**A** 就職、進学の間方が可能です。就職希望者は、全員就職しています。進学は、大学の3年生に編入学する人と高専の専攻科に進む人がいます。編入する大学はほとんどが国立大学で、編入学試験の間口が広いことから、普通科高校から大学受験するよりはるかに有利です。就職する人が6割ぐらいで、進学する人が4割ぐらいというのが最近の傾向です。5年生の秋までには、ほぼ100%の人の進路が決定します。

また、専攻科修了後も就職、大学院進学の間方が可能です。

〔⇒ 卒業後の進路状況 (P.17)〕

〔⇒ 卒業生の進路 (P.18)〕

〔⇒ 専攻科修了生の進路 (P.21)〕

